

大豆

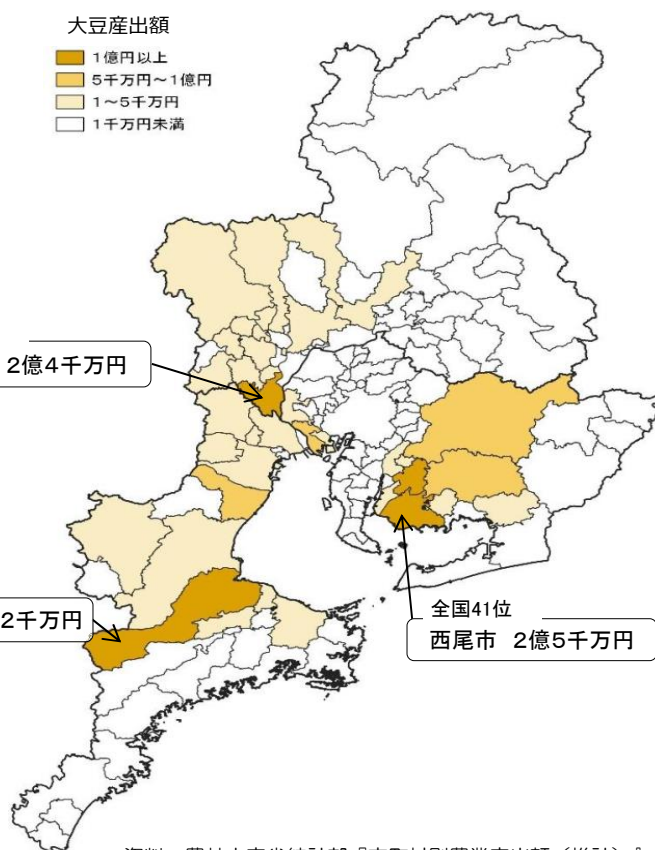
～ 東海3県大豆はブロックローテーションで効率よく生産～

東海3県における令和4年の大豆産出額を見ると、各県ともに産出額1億円以上の主産地となる市町村があり、いずれも全国で100位以内に入っています。

主に東海地域の平野地帯にある水田では、稲→麦→大豆の2年3作のブロックローテーションが確立し、農地を効率的に活用しています。

東海3県大豆の市町村別産出額（令和4年）

大豆産出額
 ■ 1億円以上
 ■ 5千万円～1億円
 ■ 1～5千万円
 □ 1千万円未満



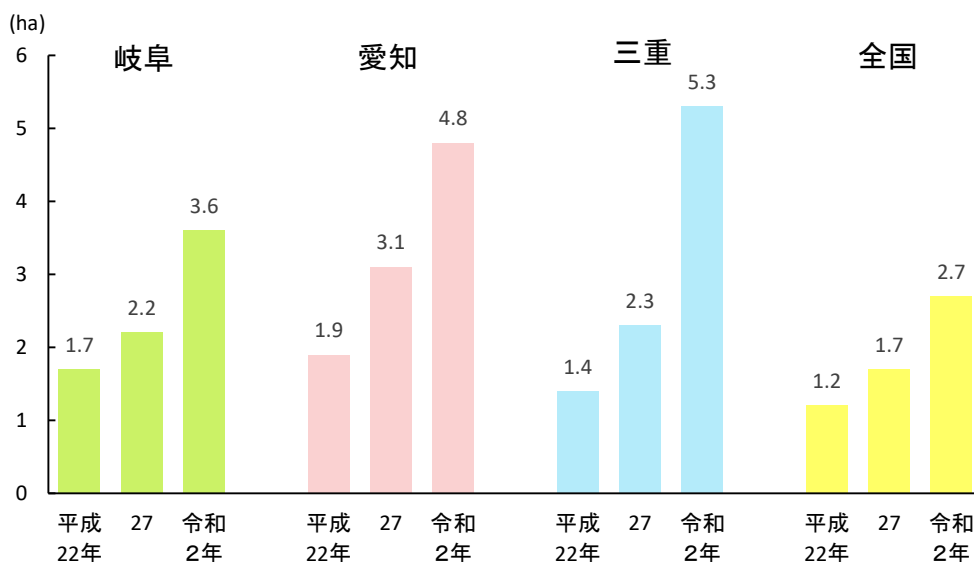
資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額（推計）』
 注：令和4年大豆の産出額を金額で色分けしたもの。

大豆産出額の全国順位（令和4年）

順位	都道府県	大豆産出額（億円）	全国に占める割合（％）
1（1）	北海道	182	45
2（2）	宮城	28	7
3（4）	滋賀	21	5
4（5）	兵庫	16	4
5（3）	秋田	16	4
6（8）	福岡	15	4
7（6）	佐賀	14	3
8（11）	山形	10	3
9（7）	新潟	9	2
10（10）	富山	9	2
：			
12（12）	愛知	8	2
18（17）	岐阜	5	1
20（15）	三重	4	1

資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』
 注：（ ）内は前年の順位である。

販売目的で大豆を作付けしている1経営体当たり作付面積の推移



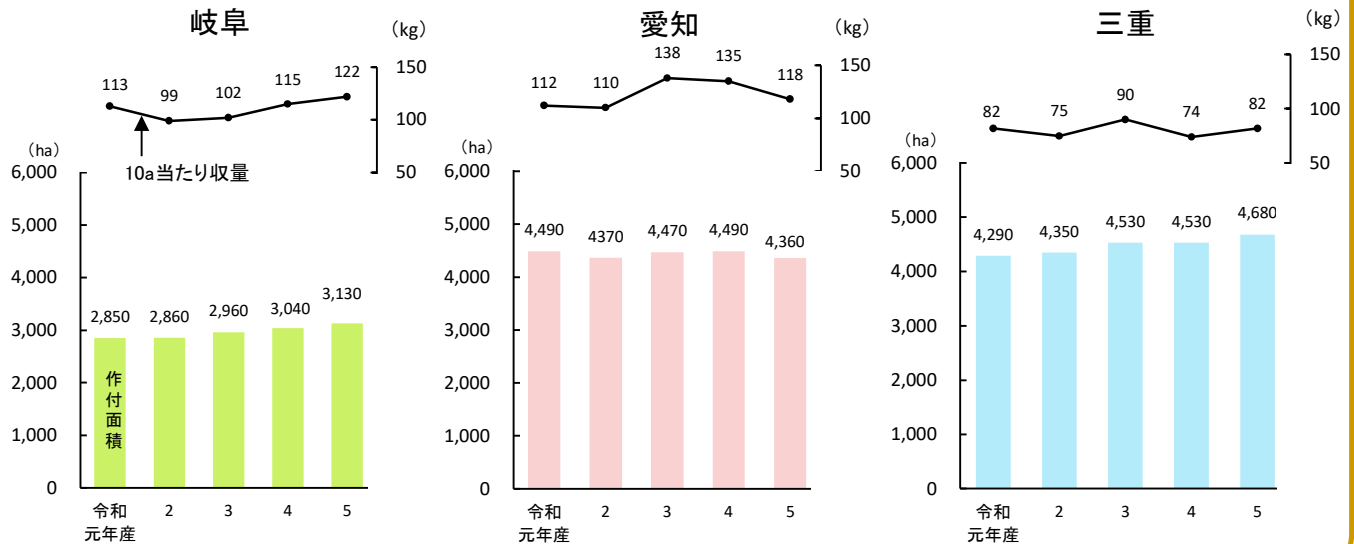
東海3県の1経営体当たり大豆作付面積は10年間で2.8倍になり、担い手農家等への集積が進んだの。

ブロックローテーションは、地域の水田をブロック単位に分けて、毎年違う作物をつくる栽培方法のことで、病虫害や雑草による被害を防いだりすることができるよ。



資料：農林水産省統計部『農業センサス』

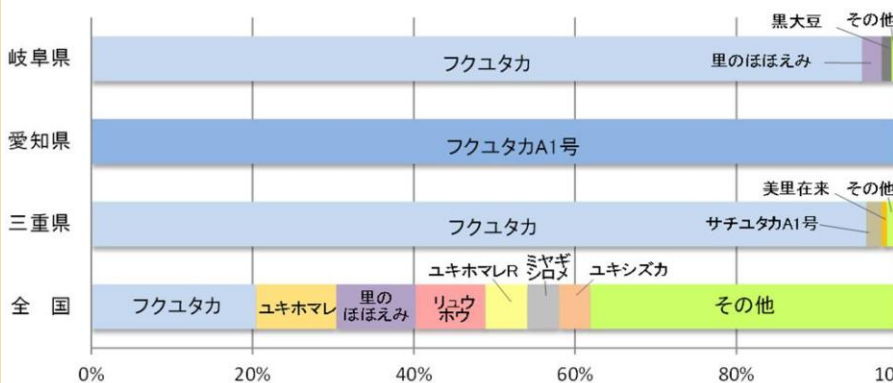
県別大豆作付面積と10a当たり収量の推移



資料：農林水産省統計部『作物統計』

大豆の品種別作付面積シェア及び東海地域で作付けされている主な品種とその特徴

令和4年産 品種別作付面積シェア(全国・東海3県)



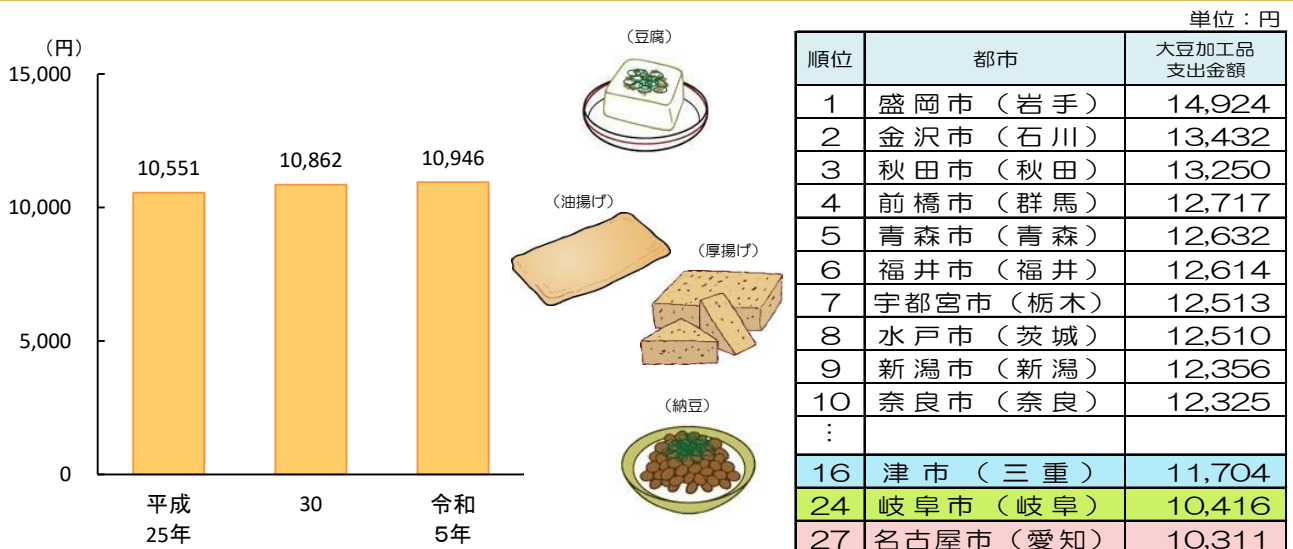
資料：農林水産省穀物課調べ

品種名	粒の大きさ	主要用途	特徴
フクユタカ	中の大	豆腐	豆腐加工適性に優れ、広域適応性のある品種。
フクユタカA1号	中の大	豆腐	フクユタカに難裂莢性を導入した品種。外観、品質はフクユタカと同等。
里のぼほえみ	大	煮豆、豆腐	倒れにくく、大粒良質でタンパク質含量が高い品種。

資料：『東海地域の大豆をめぐる事情』（令和6年8月）

東海農政局では、大豆に関する情報をホームページで公表しています

1世帯当たり的大豆加工品の支出金額の推移とランキング（令和5年）



資料：総務省統計局『家計調査』

注：大豆加工品とは、豆腐、油揚げ、がんもどき、納豆、他の大豆製品をいう（みそ及びしょうゆは除く）。